宇土市立走潟小学校　学校だより

走子走愛

（そうしそうあい）

「生命」
「笑顔」
「自立」

令和７年度　№08
令和７年５月 20 日
【文責】小林信一

お帰りなさい　集団宿泊教室

先週 14 日（水）15 日（木）１泊２日の日程で５年生が集団宿泊教室に出かけました。

14 日の朝、出発式を見送ろうと私が校庭に出ると、ほぼ全校児童が並んでお見送りをしようとしていました。走潟小では、修学旅行や見学旅行の出発に際して、全校児童でお見送りをするのが伝統になっているということです。また一つ走潟小のすばらしさに気づかされました。

出発式の様子

さて、集団宿泊教室の方はというと、私も１日目（14 日）の午後、少しだけお邪魔させていただきましたが、大自然の中での様々な活動を満喫している様子が伝わってきました。きっと何物にも代えがたい経験ができたのだと思います。

しおりに書いてあった「やくそく」の「５分前行動」「みんなでゴール」「やさしく笑顔で」「自分のことを後回しにしてみんなのことを考える」をこれからの学校生活や家庭生活に活かしてくれることを期待しています。

アスレチック施設で遊ぶ子どもたち

１５０周年に思う　③夏目漱石の書

下の写真は校長室に飾ってある書です。調べてみると最後の部分に「明治三十年十月十日第五高等学校教員総代　教授　夏目金之助」と書かれており、額の裏面には「昭和 45 年 1 月 30 日掲額」との記載があります。どのような経緯でこの書が夏目漱石（金之助）から贈られたのか、どなたが走潟小に寄贈されたのか分かりませんので、もし知っている方がいたら学校まで教えてください。

さて、書に記載されている内容は、現在解読中につき、終わりましたら報告いたします。こんな貴重な資料が残っていることも 150 年の歴史を持つ走潟小の魅力だと思います。

夏目金之助（漱介）からの祝辞